

ワットサム

※「ワットサム」とはアイヌ語でワット（にれの木）・サム（傍）という意味で、わっさむの語源です。

議会だより

第68号

2012年 8 月 6 日発行

6 月定例会

一般質問に 2 議員が登壇 ⑤～⑥

こんなことが決まりました ②～④

行政報告 ⑦～⑧

議会広報コンクール ⑨

Topic議会・編集後記 ⑩



▲無人ヘリコプターによる防除の様子（米の成長を追跡）

改良、それぞれ工事着手へ

6月定例議会

6月定例議会（第2回定例会）は、平成24年6月19日に開催され、条例改正や補正予算、工事請負契約の締結などが審議されました。

契約

【工事請負契約の締結】

（全員賛成可決）

保育所耐震等改修に伴い、工事請負契約の締結について同意しました。



【工事請負契約の締結】

（全員賛成可決）

7号道路改良工事に伴い、工事請負契約の締結について同意しました。



補正予算

（8名賛成可決）

6月定例会での主な補正額は、左表のとおりです。

塩狩ユースホステル建設補助は、総事業費961万円のうち、建設費850万円に対して20%の

平成24年度一般会計補正予算一覧表（主な内容を抜粋）

（※1万円未満切り捨て表記）

会計別	補正前の額	補正額	補正後の額
一般会計	40億9,530万	1,251万	41億781万
主な増減内容 （100万円以上の増減を抜粋）	○塩狩ユースホステル建設補助		170万
	○修繕料（災害復旧）		520万
	○塩狩南丘線道路災害復旧工事		430万

補助。

修繕料（災害復旧）は、

融雪に伴う被災箇所、全11箇所の河岸整備。

塩狩南丘線道路災害復旧工事についても、融雪に伴う道路法面の崩れた箇所を復旧するものです。



▲塩狩南丘線の法面の崩壊状況



▲塩狩ユースホステル建設予定地

保育所耐震等改修・7号道路

条例

【和寒町税条例の一部改正】
(8名賛成可決)

東日本大震災での被災者の負担軽減措置と、それに伴う財源不足を補うため、所得の特例措置が廃止になる等の地方税法の一部改正により、条例を改正しました。

【和寒町国民健康保険条例の一部改正】
(全員賛成可決)

税条例において東日本大震災での被災者の負担軽減措置が一部延長となり、国民健康保険税も、所得に応じて計算されるため、税条例同様に条例を改正しました。

【和寒町精神障害者医療費助成条例の一部改正】
(全員賛成可決)

外国人登録法の廃止に伴い、文言整理のため条例を改正しました。

【和寒町印鑑条例の一部改正】
(全員賛成可決)

外国人登録法の廃止と、住民基本台帳法の改正により、外国人住民も住民票に登録されることから、条文の整理等のため、条例を改正しました。

住民基本台帳法

市町村において、住民の居住関係の公証（住民票など）、選挙人名簿の登録、住民に関する届出の簡略化やその管理を適正に行うために定められているものです。

これまでは外国人は、住民基本台帳には適用されませんでした。7月9日から、外国人住民の方にも住民票の発行や国民健康保険の加入、印鑑登録などが可能となりました。

報告

【報告第1号】

和寒町一般会計繰越明許費繰越計算書について、デジタル中継局整備事業等（左表参照）を平成24年度に繰り越す報告がありました。

平成23年度和寒町一般会計繰越明許費繰越計算書

(※ 1万円未満切り捨て表記)

事業名	翌年度繰越額
デジタル中継局整備事業	3,801万
保育所耐震改修設計事業	140万
合計	3,941万

【報告第2号】

和寒町土地開発公社の経営状況について、報告がありました。

次回の定例会は 9月 です。 議会を傍聴してみませんか？

議会の傍聴は、傍聴者受付簿にお名前と住所を記入していただくだけで、面倒な手続きは必要なく、どなたでも傍聴できます。

町政を知る良い機会ともなりますし、皆様の暮らしや、より良い町づくりを議会とともに考えてみませんか？みなさんのお越しをお待ちしております。

詳しくは議会事務局へ TEL32-2436

みんなの声を国政に

公益に関わる次の6件について、議員から意見書案が提出されました。
第2回定例会において審議の結果可決され、関係行政省庁に提出されました。

道教委「新たな高校教育に関する指針」の見直しと地域や子どもの実態に応じた高校づくりの実現を求める意見書

提出者 中原 浩一
採決結果 可決（全員賛成）
提出先 北海道教育委員会委員長
北海道教育委員会教育長
北海道知事

義務教育費国庫負担制度堅持・負担率1/2への復元、「30人以下学級」の実現をめざす教職員定数改善、就学保障充実など2013年度国家予算編成における教育予算確保・拡充に向けた意見書

提出者 中原 浩一
採決結果 可決（全員賛成）
提出先 内閣総理大臣 衆議院議長 参議院議長
総務大臣 財務大臣 文部科学大臣
内閣府特命大臣（地域主権推進担当）

けいれん性発声障害（SD）の研究・治療等の推進を求める意見書

提出者 金谷 浩幸
採決結果 可決（全員賛成）
提出先 衆議院議長 参議院議長
内閣総理大臣 財務大臣
厚生労働大臣 文部科学大臣

地方財政の充実・強化を求める意見書

提出者 金谷 浩幸
採決結果 可決（全員賛成）
提出先 内閣総理大臣 内閣官房長官
総務大臣 財務大臣
内閣府特命担当大臣（経済財政政策担当）
経済産業大臣

北海道地域最低賃金の大幅な改善を求める意見書

提出者 金谷 浩幸
採決結果 可決（賛成多数）
提出先 北海道労働局局長
北海道最低賃金審議会会長

森林・林業・木材産業施策の積極的な展開に関する意見書

提出者 佐々木広行
採決結果 可決（全員賛成）
提出先 衆議院議長 参議院議長 内閣総理大臣
財務大臣 文部科学大臣 農林水産大臣
経済産業大臣 国土交通大臣 環境大臣
復興大臣

◆各意見書の要旨についてはホームページ上で公開しています。

<http://www.town.wassamu.hokkaido.jp> 「トップ画面」⇒「和寒町議会事務局」⇒「議会結果」



兼丸 昇議員

問「健康づくりの町」宣言を

答 定義・目標・指標を明確にし、実践へ努力

問 今年の夏の節電への取組みは

答 各施設の状態を洗い出し、節電に取り組んでいく

宣言で健康への意識向上を

和寒町は「スポーツの町」を宣言し、総合体育館、研修館「楡」を開設、スポーツの振興を通して町民の健康の増進に貢献している。

一方で高齢化率も41・1%に達し、全道の上から7位で上川管内では1位と、高齢化の町にもなっている。

わが町の健康増進への施策も保健福祉センターと町立病院の連携の各種検診等、健康への取組みは全道でも上位にあり、医療費の抑制に大きく貢献している。

スポーツ施設、高齢者施設「芳生苑」健康楽苑への取組みが高齢化率を押し上げている。

何よりも町民の健康への取組み意識、姿勢が一番大切であり、町民の更なる意識向上に向け、「健康づくりの町」を宣言しては。

伊藤町長

和寒町は今4つの宣言をしている。

道内には健康に関する宣言をしている市町村は19、スポーツと健康に関わる宣言は41市町村ある。

本町の健康への取り組みが特定健診受診率や保健指導実施率が全道でも上位で、町民の健康への意欲の表れであり、「健康の町」宣言にふさわしいと思われるが、宣言のためには、何をもちて健康とするか、定義づけや目標、指標の設定をした上で実践したい。

○再質問

年間2%近い人口減少率だが、高齢者数は増加している。健康増進へ向け課題は。

伊藤町長

今実践している施策の更なる取組みと、健康診査やガン検診など各種健診を受けてもら

い、早期発見と治療に努力してほしい。

○再質問

高齢化率は算定が簡単だが、平均寿命の算定をしてみても。

安孫子副町長

平均寿命の数値は持ちあわせていない。

北電からの

節電要請の内容は

昨年の東日本大震災での福島原子力発電所の事故以来、原子力発電の是非が国家的課題で、北海道においても泊原発が全面的に停止再開の目途は明らかに

なっており、今年の夏は7%以上節電が必要であると節電要請がきているが、具体的要請内容と行政の取組み、一般家庭、会社、企業等、節電要請の取組みは。

伊藤町長

北電の協力要請は、お盆を除く7月23日から9月14日までの平日午前9時から午後8時までで7%使用電力減の要請があり、公共施設節電対策会議を開催し、各公共施設を対象に、無駄の排除や動力の効率的運転方法の洗い出し、電力使用量のピーク時間帯をずらした運用、事務所照度の引き下げなど節電に取り組んでいる。

広報誌等で町民へも節電の呼びかけを行っていく。



▲北電から配付されたパンフレット

○再質問

平成22年度と比較した消費電力量の結果の公表は。

LED電気機器への対応について、現状と新たな取り組みは。

安孫子副町長

節電対応の結果は、町民へお知らせする必要があると考える。

広富総務課長

庁舎内の蛍光灯はLED化にしていすが、今後研究していきたい。

○再質問

総合体育館、小・中学校体育館の節電は。

横枕教育委員会次長

照明は必要に応じて区分して使用している。

星教育長

使用日、時間帯の削減は考えておらず、効率的使用に心がける。



石田利美議員

問 雪捨て場の新設と整備は

答 三笠競馬場跡地を整備し雪の整理も

問 住宅の新築・リフォーム等の補助制度の再構築は

答 省エネルギー促進支援事業は今後も支援を検討



▲例年より多かった排雪量

融雪期を見据えて

町には、三笠競馬場跡地と松岡野球場跡地の2箇所の雪捨て場がある。平年の降雪量812センチに対し、今年は674センチと少なかったが、冬の期間、寒さが厳しく積雪量が多かった。町の排雪は4回行われ、雪捨て場はすごい量の雪の山になり、雪が無くなったのは6月の初めである。雪捨て場の近隣の農家にも迷惑を掛けないためにも、雪捨て場を整備し、さらに雪捨て

場を新設しては。

伊藤町長

現在、市街地の町道73路線の排雪時における堆積場は三笠競馬場跡地を使用している。

長年にわたり周辺地域の方々のご理解とご協力をいただいていることに感謝を申し上げます。

平年より排雪量が多く、南側部分を十分に活かしきれないなど、堆積の方法に反省すべき点もあった。

近年、異常気象が発生する中、豪雪等によ

る雪害が想定される。

今年度中に、三笠競馬場跡地の南側の未使用部分を整理し、捨て場面積を拡大するとともに、雪の整理方法も見直していく。

雪捨て場の新設は、広大な新たな場所と、地域の理解と協力も必要なので、難しいと考えている。

住みやすい環境の一環として補助を

経済が低迷している現在、住宅の新築・リフォームなど考えている町民も多いと思うが、なかなか実行できないと思う。

住宅の新築・リフォーム費用の補助や合併浄化槽、ロードヒーティング、融雪槽などの設置費用に対する補助制度を再構築しては。

伊藤町長

平成5年度から16年度まで、定住促進など

を目的に「すまいる促進補助」を行ってきた。

住宅不足の緩和や町内への経済効果など、一定の成果が得られた。

制度廃止以降に新築された方との公平感の問題や、民間共同住宅などもあり現状での創設は困難である。

融雪機やロードヒーティングなどの設置に

対しての助成は、平成13年度から17年度にかけて助成を行ってきた。冬期間の除排雪対策の視点から見ると有益だが、現在燃料費の高騰など、利用を控えておられる方もあり、さらに検討が必要だと思われる。

合併浄化槽の設置は平成7年度から15年度まで9年間にわたり国・道・町の助成も行ない、248基を設置していただいた。

助成終了前に設置希望者を調べたが希望者がなかったため、制度を終了した。

○再質問

農村地区で177世帯が合併浄化槽を設置していないが町長の考えは。

伊藤町長

下水道を推進してきた一人として、農村地区の合併浄化槽の排水処理は重要だと思う。意向調査をし、方策を検討してみたい。

○再質問

これからの、省エネルギー促進支援事業の取り組みは。

伊藤町長

これまで、太陽光・ペレットストーブ・住宅の断熱効果を高める改修に支援してきた。住宅改修は多くの方が利用されているので、今後も支援していく必要があると感じているので検討していく。

行政報告

全般

平成23年度の病院会計を除く各会計の決算状況は、5月31日をもって出納閉鎖の結果、一般会計をはじめ各会計ともに黒字決算となり、24年度に必要な財源（繰越明許費・繰越金）を繰越し、残余分をそれぞれの基金に積立することになりました。

産業振興

天候不順の影響は

今年は、春先の低温等により融雪が進まず、春作業の遅れが心配されましたが、その後の好天により遅れも取り戻し、順調に進んでるところです。

暗渠等の基盤整備

農業体質強化基盤整備促進事業は、てしおがわ土地改良区を事業主体として、現在施工箇所の調査と設計を行っており、8月発注を予定していますが、暗渠排水は営農上

必要不可欠なことから、パワーアップ事業に準じ、必要な支援策を講じていきます。

シカなどの対策は

有害鳥獣による農作物被害対策は、猟友会のご協力によりエゾシカの駆除を進めています。広域での農作物被害防止に取り組むため、剣淵町との対策協議会を設置することになりました。

駆除した有害鳥獣は、焼却処分すべく東和の広域生ごみ処分施設に隣接して整備をするよう、地元の説明会を開催し理解を得たところです。

新エネルギー導入へ

木質バイオマスエネルギーの事業化に向けて、国の「農山漁村活性化プロジェクト支援交付金」の採択を受けるべく活性化計画を提出しています。

都市女性が来町

農村生活体験事業は、

本年、2名の女性が来町されることになり、農業に好感を持てるような実習となるよう受入れ農家の方々や関係機関と連携を図りながら支援していきます。



▲来町した2名の実習生

「担い隊」新たな仲間

「わっさお担い隊」ですが、二期生として応募のあった1名（館洞あかねさん）を6月4日に委嘱したところであり、町の状況や行政の仕組み等の研修や体験をとおして理解を深め、将来のまちの担い手として活躍していただきます。期待をしています。

保健福祉

保育所の状況

保育所ですが、2年目となるゼロ歳児保育を含めた、5月末現在の入所者数は、102名で、前年度対比2名の増となっており、一時保育事業も4月から延べ12件の利用と例年より増加傾向となっています。

耐震等改修工事は、11月末の完成まで、保育を実施しながらの大規模改修となることから園児の安全を第一とし、現場管理に徹底を期していきます。

子育て支援「こども館」

「子育て支援センターこども館」は、5月末での利用は102件となっており、「放課後児童育成事業」も、登録児童数が50名となり、連日30名前後の子ども達が利用しています。地域で子ども達を支える仕組みづくりを進めるなど、安心して子育てのできる環境づく

りに努めます。

健康のために

各種健康診査業務は、健康を守るうえで、多くの方々に受診をしていただくよう周知を進めます。

進む高齢化

介護保険事業の4月1日現在の状況は、第1号被保険者数は1千520名で、高齢化率39・66%、前年対比0・67%の増となっています。

高齢者調査で

事業へ反映

高齢者実態把握調査は、直接、保健師やケアマネージャーが老人クラブや個別訪問を実施し、必要な支援の確認を行いながら、介護事業等に反映させていくように努めていきます。

住民

パスポート申請開始

「お客さま窓口」は、

新たに7月からパスポート申請の受付を開始しますが、通常業務も含めまして、手続きに來られた皆さんが戸惑うことのないよう、丁寧な対応と正確で迅速な事務処理に努めます。



国保税率、変動なし

国民健康保険税は、その年の医療費の動向と加入者の所得状況により毎年見直しを行い、所得が確定した時期に保険税率を決定していますが、健診事業の充実から疾病の早期発見・早期治療が進み、医療費の伸びが抑えられました。

また、所得においても心配していた農業収入の影響も少ないことから、国保運営協議会で十分協議いただき、昨年に引き

続き保険税率を据え置くことにしました。

建設

道路・河川の復旧

今年4月、融雪による道路の法面崩落、河川の土砂埋塞、河岸一部崩落等の被害が町内各所で発生し、順次復旧を進めているところですが、その所要経費の補正予算を計上しています。

終末処理場の

長寿命化へ

公共下水道事業では、建築後24年を経過した下水終末処理場の一部改修と機器更新の時期を迎えていることから、今後計画的に改修・更新していくための「下水終末処理場長寿命化計画策定業務」を進めています。

総務

ホームページの更新

町のホームページは、

町民の方が生活に役立つ情報を、町外の方には和寒町の知りたい情報を、わかりやすく検索しやすく提供できるよう、また各サイトと連携して多くの情報を発信していくことなどをポイントに更新したところです。

今後閲覧された方々のご意見などを参考にしながら、引き続き工夫改善に努めます。



▲新しくなった町のホームページ

病院

病院の運営状況は

患者の動向は、入院では対前年比995人の減となり、ベッド稼働率が

69%で、外来も対前年比1千441人減の1万7千702人となりました。

今後も町民の皆さんに安全安心の医療をお届けするために、また予防接種や特定健診などの予防的な医療を提供していくために、ハード・ソフト両面で医療サービスの維持向上を図りながら、必要とされる病院となるよう職員一同、鋭意努力していきます。

教育

青少年会館

長年多くの皆さんにご利用いただいていた青少年会館、武道館は、現在取り壊し工事が進められています。今後の跡地利用は関係機関をはじめ各方面からご意見やご提案をいただきながら有効活用に向けて取り組んでいきます。

入選!

議会だより 「ワットサム」

北海道町村議会広報コンクール



▲広報コンクールの表彰伝達が行なわれました

第32回北海道町村議会広報コンクールにおいて、議会だより「ワットサム」が初の入選となり、6月19日、第2回町議会定例会開会前に議場において伝達式が行われ、塚崎議長から酒向議会広報委員長へ表彰状と盾が手渡されました。

審査は「住民目線の内容」「読みやすいレイアウト」など複数の審査基準があり、本誌の評価は、字体のサイズや濃淡をつまく活用したきれいな紙面であることや、読者の注目度を高めるようなレイアウトが評価されたようです。



▲盾
(応募した広報誌66号の表紙写真)



▲表彰状
(応募26品の中から、特選に次ぐ入選に)

これまでに広報研修会に多数参加させもらい、その際に学んだ手法等を試行錯誤しながら取り入れてきた成果だと思っております。

今後も、わかりやすく、住民の皆さんに興味を持ってもらえる広報誌の制作を目指していきます。

一緒に議会だよりを
作りませんか

議会だより67号の表紙写真は住民の方からお寄せいただいたものを掲載しました。

住民の皆さんの中には、何らかの形で議会と関わりを持ちたいと考えている方もいらっしゃると思います。

その一歩として、議会だよりに掲載する写真撮影などをしてみませんか。

また、その他議会広報誌に関するご意見等も募集しております。

お寄せいただいたご意見等は広報委員会にて検討し、紙面に反映していきたいと思っております。

詳しくは議会事務局まで

(電話32-2436)

Topic 議会

◇総務福祉常任委員会

財産の管理状況を調査

5月10日、総務福祉常任委員会は所管事務調査のため、松岡葬斎場や東和生ごみ処理場、子育て支援センターなど、町内の所管施設の視察をした後、防災備蓄品の調査を行いました。



▲防災備蓄品の管理状況を確認

◇全道町村議会議員

研修会に参加

7月3日に札幌コンベンションセンターで開催された全道町村議会議員研修会に参加しました。



▲全道各地から集まる議員研修会

◇行政視察

7月4日に、札幌市豊平区にある北海道農業研究センターの行政視察を行いました。

当該施設の概要や、研究の内容などの説明をいただき、実際に試験栽培をしている圃場を見学させていただきました。

各作物、説明いただきながら圃場を巡回しましたが、中でもポカボチヤについては、和寒の新たな特産品としても注目されており、品種の特徴などの説明を受けてきています。



▲試験栽培の内容を視察

◇7町村

議会議員研修会

7月25日に幌加内町において、上川管内北部の7町村議会（中川町、音威子府村、美深町、下川町、剣淵町、幌加内町、和寒町）が集まり議会議員研修会が開催されました。

はじめに「住み慣れた地域で暮らし続けるために」と題し、NPO法人よるべさ理事の蔵前直美氏から講演を受けた後、「よき者・ばか者・若者」と題し、NPO法人朱鞠内湖ワールドセンター代表の中野信之氏の講演を受けました。



▲7町村議会議員研修会に参加

編集後記

6月定例会の前段に、去る6月6日に開催された北海道町村議会議長会の席上、弊紙が第32回北海道町村議会広報コンクールで「入選」をいただきました。

これもひとえに

議会改革の柱として広報誌の発行を進めていただいた先輩方のご努力の賜物だと思えます。事務局にもあわせて感謝を申し上げます。編集会議では、

「農作業風景などに、町民の皆様の笑顔があったらいいね。」など意見が出ています。今後分かり易く親しみやすい紙面作りに心がけてまいります。これからもご愛読よろしくお願いいたします。

(勤)